



区議会だより



Arakawa City Council Report
令和8年(2026年)4月19日



令和7年度定例会 2月会議号

▲ 令和7年「尾久の原公園シダレザクラのある風景」
写真コンクール 最優秀賞 撮影者：多久未来 様

YouTube



ホームページ



議会活動	2	委員会活動の報告	11
2月会議の概要	2	予算の審査概要及び討論	14
区政のここをきく	3	意見書提出	18
コラム 委員会とは?	5	議案の審議結果	19
Pick Up 委員会条例を改正	6	視察受け入れ報告	20
コラム ライブ配信もあります!	10	コラム 鈴木誠也選手を応援しています!	20

議会活動

令和7年12月26日～令和8年3月17日

1月14日

- 総務企画委員会
- 福祉・区民生活委員会

1月15日

- 文教・子育て支援委員会
- 建設環境委員会

1月21日

- 財政援助団体調査特別委員会

1月22日

- 若者支援・健全育成調査特別委員会

1月22～23日（行政視察）

- 震災・災害対策調査特別委員会

1月26日

- 議会運営委員会

1月27日（区外視察）

- 財政援助団体調査特別委員会

2月3日

- 総務企画委員会
- 福祉・区民生活委員会

2月4日

- 文教・子育て支援委員会
- 建設環境委員会

2月16日

- 議会運営委員会
- 本会議

2月17日

- 本会議

2月19日

- 総務企画委員会

- 福祉・区民生活委員会

2月20日

- 文教・子育て支援委員会
- 建設環境委員会

2月25日

- 予算に関する特別委員会

2月27日

- 議会運営委員会
- 本会議

- 予算に関する特別委員会

3月3～9日 ※6日及び土日除く

- 予算に関する特別委員会

3月10日

- 議会運営委員会

- 本会議

- 予算に関する特別委員会

3月11日

- 予算に関する特別委員会

- 福祉・区民生活委員会

3月17日

- 議会運営委員会
- 本会議

2月16日～3月17日までの期間（太字）に
令和7年度の2月会議が開かれました。



2月会議の概要

～令和8年度予算を可決～

令和7年度荒川区議会定例会・2月会議には、区長から27件、議員から2件の議案が提出され、いずれも原案どおり可決されました。

2月16日、17日の本会議では、11名の議員から区政全般にわたり一般質問が行われ、区長らが答弁を行いました。

また、2月25日から3月11日までの間、予算に関する特別委員会が設置され、令和8年度予算に関する議案4件について審査を行いました。

3月17日の本会議では、令和8年度一般会計予算に対し、各会派から討論が行われました。

※予算審査の経過はP.14～15、
討論の要旨はP.16～18に掲載



◀2月会議における
区長挨拶の様子



◀2月会議の様子

区政のここをきく

2月16日、17日の本会議にて、一般質問が行われました

一般質問要旨

※ 二次元コードから一般質問の動画が視聴できます



小中一貫教育／荒川区の防災街づくりについて

西川 浩平
(自民党)



小中一貫教育について

問 学校施設建て替え計画の中間報告において、第七峡田小学校と第五中学校が区内初の小中一貫校として令和18年度から供用開始となる計画が示された。区が小中一貫校のあり方として、義務教育学校ではなく、なぜ施設一体型の小中一貫校の形式を選択したのか。それぞれにメリットやデメリットがあると思うが、区の見解を問う。



▲学校施設の建て替え計画と小中一貫校のあり方について

答 義務教育学校の導入には既存校の統廃合を伴うという課題がある。小中学校それぞれの教育的な強みを最大限に維持発揮したまま、9年間の学びの連続性を重視して一貫化することが、伝統を重

んじつつ不断の進化を続ける「荒川区らしい小中一貫教育」の姿であると捉えており、施設一体型の小中一貫校の設置を考えている。

問 小中一貫教育の導入にあたり、9年間の教育目標等をどのように設定するかも含め、地域の皆様への十分な説明を求めるが、区の見解を問う。

答 リーフレットの配付や動画配信のほか、他の区立中学校の選択が可能であることも含めて、区報等を活用した多角的な広報展開を実施していく。

問 小中一貫校の建設にあたり、遠距離の徒歩通学が生じる場合がある。通学に際し、どのような支援策を講じる予定なのか、区の見解を問う。

答 今後、警察・地域の皆様と連携した通学路の再点検や登下校時の見守りの更なる強化など、安全確保に万全を期していく。

問 小中一貫校だからこそできる教育があると思う。その強みやユニークな取り組みなども含め、区の今後の意気込みを問う。

答 「荒川区小中一貫教育カリキュラム」を策定し、カリキュラムの最適化に取り組み、充実した小中一貫教育の実現に向け鋭意取り組んでいく。

防災街づくりについて

問 首都直下地震発生時、医師等も被災し適切な医療体制を提供することは困難な状況となる。発災後、適切な治療を受けられずに亡くなる「未治療死」の発生を防ぐための取り組みを問う。

答 大規模災害時における円滑な搬送体制の確保や傷病者の受け入れ体制の整備等に努め、災害時における医療救護体制がより万全のものとなるよう、関係機関との連携強化に取り組んでいく。



▲大規模災害時における適切な医療体制の整備

問 都における不燃化特区事業の延伸や区の耐震改修促進計画の見直しが進められているが、地震による建物の倒壊等による重傷者の未治療死の発生を防ぐためにも、災害に強い街づくりを今後どのように進めていくのか、区の見解を問う。

答 本年度、耐震改修促進計画の改定を進めており、緊急輸送道路の沿道建物をはじめとした家屋の耐震化を促進していく必要がある。今後も防災街づくりの施策を着実に推進し、災害に強い街の実現に向けて取り組んでいく。

その他の質問項目

- 予算について
- 区内企業の人材確保に向けた取り組みについて
- 荒川区の公園整備について
- 荒川区基本構想について



令和8年度予算編成と組織改正/
外国人増加に伴う対応について

清水 啓史

(ゆいの会 (都民ファースト・
国民民主・あたらしい党・無所属))



令和8年度予算編成と組織改正の考え方について

問 令和8年度予算案は「派手さはないけれど役に立つ、かゆいところに手が届いた予算案」だと感じた。組織体制は、総務企画部を政策企画部と総務部へ再編し、危機管理部を新設するほか、学童・放課後事業は教育委員会へ、荒川遊園課は産業経済部へ移管となるが、その考えを問う。

答 真に必要な施策を盛り込む一方で施策を見直し、地に足のついた予算編成にするとともに、横断的かつ機動的に組織が連携し、課題解決できるよう大規模な組織再編を行うこととした。全庁一丸となって明るい未来に繋がる区政の実現に取り組んでいく。

外国人増加に伴う対応について

問 オーバーツーリズムや民泊のトラブルは社会問題となっている。区政世論調査でもごみ出しや自転車等、外国人のマナーについて意見が寄せられており、区は区民の不安感や不満感の払拭に伝えていく必要がある。区民感覚に対する認識と、その声にどう応えていくのか、区の見解を問う。

答 区政世論調査では、外国人の生活ルール等に関する苦情や不安が例年より多く寄せられており、外国人増加による状況の変化を認識している。プロジェクトチームにおいて、外国人対応について更に検討を進め、適切な対応により、区民の不安解消と安全・安心に暮らせる地域づくりを推進する。

その他の質問項目

○西日暮里地域の道路計画・整備について



外国人の増加に伴う対応



財源を生み出すこと/給食費相当額の支援について

保坂 正仁

(公明党)



財源を生み出すことについて

問 基金の運用については、投資の活用等、柔軟な対応をすべきと考えるが、区の基本的な考えと更なる歳入確保に向けた取り組みについて問う。

答 基金の運用については定期預金を基本とし、安定的な運用益の確保とリスク管理に努めており、安全性を第一により効果的な運用に努めていく。

問 他自治体の事例を参考に、早急に企業広告を活用し、収入を得るべきと考えるが、見解を問う。

答 先進事例も参考にしながら、歳入増加につながるような企業広告活用の検討を進めていく。

問 公共施設の建て替えにあたり、クラウドファンディングの活用や思い出深い校舎への寄付金創設による資金調達を提案するが、区の見解を問う。

答 戦略的な歳入確保策として、クラウドファンディングや寄付金、ネーミングライツなど、様々な手法により最大限の歳入確保に努めていく。

就学先による不利益を生じさせない給食費相当額の支援について

問 就学先の違いによる不利益を生じさせない給食費相当額の支援が必要と考えるが、見解を問う。

答 保護者間における公平性の担保のほか、総合的に課題を整理する必要があると、都や他自治体の動向を注視しながら、子どもや保護者にとって望ましい支援の在り方について検討を進めていく。

その他の質問項目

○令和8年度予算(案)について



就学先の違いによる不利益を生じさせない給食費相当額の支援



公契約条例制定と区内産業活性化／今後のまちづくり計画について
横山 幸次
 (共産党)



公契約条例制定と区内産業活性化について

問 公契約条例の制定を機に、区内経済の活性化をどう図るかが問われている。緊急対策として区内中小企業への賃上げ直接支援の検討、実施することを求める。

答 一定以上の賃上げをした事業者に対する設備投資補助の拡充などの取り組みを着実に進め、経営基盤の強化に資する支援に努めていく。

問 区内産業政策の一環として捉え、区内の介護、福祉、保育などケア労働の実態調査を実施し、支援策を検討、実施することを求める。

答 統計調査や意見交換、アンケート調査等による実態把握に基づき、各種支援を進めており、引き続き支援に取り組んでいく。

問 下請け企業の区内取引実態調査を行い、状況を把握するとともに、中小受託取引適正化法（下請法改正法）の周知・啓発、相談窓口など設置することを求める。

答 景況速報調査等で状況把握に努めており、法律の普及啓発やセミナー開催等、支援の充実を図る。

今後のまちづくり計画について

問 2026年度から改定作業に入る都市計画マスタープランは、無秩序な開発行為の抑制、人口やまちの景観、社会インフラ整備などを総合的に考慮し、区民参加で進めることを求める。

答 次期計画の策定にあたっては、策定委員会において十分な審議を行うとともに、区民の意見を参考にしながら検討を進めていく。

問 地域公共交通計画は、都市計画マスタープランの策定と並行して、独自に必要な予算もつけ、綿密な調査と区民参加で策定することを求める。

答 都市計画マスタープランの調査結果や区民の意見等を参考にしながら、地域公共交通計画策定の必要性を含めた検討を進めていく。

その他の質問項目

- 新年度予算案と物価高騰から暮らしを守る対策について
- 区民との協働・住民自治を進めるため区民と議会への徹底した情報公開と情報共有を行うこと



区民参加により進める今後のまちづくり計画

委員会とは？

幅広い分野にわたる区の様々な事柄を専門的に調査・審査をするために、区議会では委員会を設置しています。委員会は常任委員会、議会運営委員会、特別委員会の3種類があります。

常任委員会

所管事項の調査や本会議に付託された議案や陳情等の審査を行います。

- 総務企画委員会
- 文教・子育て支援委員会
- 福祉・区民生活委員会
- 建設環境委員会

議会運営委員会

議会の運営等に関する調査や議会に関する議案、陳情等の審査を行います。

議会運営委員会

特別委員会

臨時的なことや重要な事柄を調査・審査するため、議会の議決を経て設置されます。

- 震災・災害対策調査特別委員会
- 観光・文化推進調査特別委員会
- 財政援助団体調査特別委員会
- 若者支援・健全育成調査特別委員会



青切符開始に伴う事故低減／
集団登校の復活について

山田 晴美
(維新・子育ての会)



自転車の青切符開始に伴う事故低減の取り組み

問 令和8年4月から開始される自転車の交通反則通告制度「青切符」の周知啓発について、区の取り組みを問う。また、各町会あるいは地域単位で自転車事故危険スポットを地図にまとめた「ご近所ヒヤリハットMAP」を作成し、住民に共有することを提案するが、区の見解を問う。

答 チラシの配布や警察と連携した周知活動を行っており、更なる強化に努めていく。また、区内の交通事故発生箇所等の危険箇所を地図に落とし、交通安全対策に活用しており、今後アンケート調査等により危険箇所の更なる把握に努めていく。

学校建て替え計画を機とした集団登校の復活

問 学校建て替えに伴い、集団登校復活の検討を要

望する。集団登校は、学年の違う子どもたちの交流や、子どもたち同士が共に協力し合う、連携行動の基盤にもなる。ご近所同士の保護者が顔を合わせる機会にもなり、地域の防犯の観点からもメリットがあると考えるが、区の見解を問う。

答 学校施設の建て替えに伴うバス通学の際にも上級生と下級生の交流は可能であり、集団登校の一つの形として機能すると考える。狭い道路が多く集団で歩くことで車との接触事故等のリスクが高まる等の課題もあるため、交通誘導員の配置やデジタルツールの活用等の安全対策を講じていく。

その他の質問項目

○社協で実施している「ひきこもり支援事業」



荒川区が作成した青切符
についてのチラシ

Pick Up!

荒川区議会委員会条例の一部を改正する条例 (議員提出議案 第4号)

荒川区組織条例の改正に伴い、常任委員会の所管事項を次のとおり改めます。
※文教・子育て支援委員会、建設環境委員会は変更無し

総務企画委員会

改正前	改正後
<ul style="list-style-type: none"> ・総務企画部 ・管理部 ・会計管理部 ・監査委員に関する事項 ・他の委員会の所管に属しない事項 	<ul style="list-style-type: none"> ・政策企画部 ・産業経済部 ・選挙管理委員会 ・監査委員に関する事項 ・他の委員会の所管に属しない事項

福祉・区民生活委員会

改正前	改正後
<ul style="list-style-type: none"> ・福祉部 ・区民生活部に関する事項 	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉部 ・健康部 ・危機管理部 ・区民生活部に関する事項



子どもに寄り添う施策の拡充/ モノづくりのまち荒川の推進

明戸 真弓美
(自民党)



子どもに寄り添う施策の拡充

問 5歳児健診の実施にあたり、発達障がい専門とする医師等の確保や発達障がいと診断された場合の教育・療育等のフォローアップ体制についてどのように対応していくのか、区の見解を問う。

答 区の採用や外部委託で保健師・医師等の専門人材を確保し専門チームによる健診体制を準備すると共に健診後のニーズに合わせた受け入れ先や支援方法について関係所管と連携し検討を進める。



▲専門医師等による
フォローアップ体制

問 障がい児の学校への通学を支援するガイドヘルパーが不足しており、移動支援を引き受けてくれる事業所が見つからない場合がある。区は、移動支援事業の実態と課題をどう認識し、具体的にどのような対策を実施していくのか、見解を問う。

答 地域全体でガイドヘルパーの養成を促進するとともに、なり手を増やす取り組みとして、移動支援事業の一部報酬を引き上げるよう、令和8年度予算案に計上している。引き続き、必要なサービスが行き渡るよう、施策の充実に努めていく。

問 区の小中学校の不登校児童・生徒数は400人を超えている。子ども自身が自分のペースでエネルギーを回復し、自己肯定感を取り戻すことが最も大切である。不登校児童・生徒への支援策の現状と今後について、区の見解を問う。

答 区では、学びの場の確保と出席扱いの緩和、経済的な支援の拡充や保護者を孤立させない仕組み作りなどを行っている。社会とのつながりに関する



適切な情報提供が重要であるため、情報が効果的に届くよう、情報提供の方法を工夫していく。

モノづくりのまち荒川の推進のために

問 モノづくり職人・企業の販路開拓や新製品開発に資するよう多様な業種の人や企業が参加する異業種交流会を開催できないか。それにより、区のモノづくりの裾野が広がり、交流することで更なる活性化ができるかと考えるが、区の見解を問う。

答 異業種交流会の開催については、今後、販路開拓や新製品開発に精通したバイヤー等を招聘するセミナーに合わせて、参加者同士が情報交換、意見交換ができる場を設けるなど効果的な販路開拓や新製品開発に繋がる事業の実施を検討する。

問 近年、子ども・若者は様々な職業人と身近に接する機会が減少し、家庭においても親の働く姿が見えていない状況であり、これは将来への不安感や学校における学習意欲にも影響する。そこで子どもへのモノづくり職業体験事業を開催できないかと考えるが、区の見解を問う。

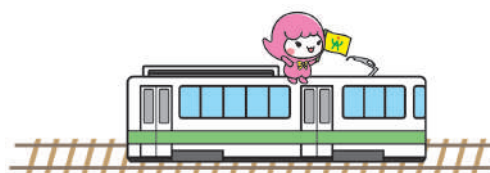
答 中高生を対象としたワークショップにおいて、地元のモノづくり職人による講話や実演の機会を設けるほか、モノづくり企業等への見学・体験会など、子どもたちがモノづくり産業への理解と関心を高めてもらえる取り組みを検討していく。



▲ワークショップにおける
チームディスカッション

その他の質問項目

- 8020に向けた後期高齢者歯科健康診査の拡充について
- 防災対策について
- 魅力的なシティプロモーションコンテンツの活用について





産後ケア事業と産後うつ
の充実策／
防災士資格取得の区内開催

竹内 明浩

(ゆいの会 (都民ファースト・
国民民主・あたらしい党・無所属))



産後ケア事業と産後うつ、虐待予防を見据えた
今後の充実策について

問 産後ケア事業は育児支援サービスであるとともに産後うつ
の予防や早期発見、さらには乳幼児虐待の未然防止に繋がる重要な
施策である。施設数や利用日数が限られている中、今後区としてどの
ように充実させていくのか、見解を問う。

答 利用者の状況に沿った支援を実施しているが、利用が大幅に
増えている宿泊型の実施場所をさらに拡充できるよう、鋭意取り組
んでいる。また、令和8年度予算案では区の負担額を増額し、利用
者の負担軽減を図ることを予定している。

防災士資格取得に係る受講会場の区内開催

問 災害の発生リスクが高まる中、地域全体の防災

力を高めることが不可欠である。区内中高生、町会・自治会の方
の防災士資格取得のための受講しやすい環境を整備するために、
区内の公共施設や学校等を活用して講習を開催することを求める。

答 区から講座の主催者に対し、区内の施設における資格取得講座
の開催について要望をしているところであり、夏季休暇中など、中
高生も含めて多くの方が受講しやすい時期に実施できるよう調整
を行っている。

その他の質問項目

- 町会・自治会の現状と今後の区との関係性
- 届け出サポートデスク (お悔みサポート) の実質的ワンストップとDX推進について



産後ケア事業の充実



居住支援協議会／Z E B化推進
に向けた体制整備について

山口 幸一郎
(公明党)



居住支援協議会について

問 更生保護施設退所後の居住支援は社会復帰等に不可欠である。
区の居住支援協議会に更生保護施設の関係団体も参画できるように
すべき。

答 更生保護施設を退所された方の住まいの状況等を把握すると
ともに、関係団体の居住支援協議会への参画に向け、意見交換を
行っていく。

問 高齢者等への居住支援と終活支援、空き家再生を一体的に進
めるべきと考えるが、見解を問う。

答 引き続き、関係部署と連携し、終活支援を空き家対策の予
防策の一つとして進めていく。

公共施設のZ E B化推進に向けた方針と体制整備について

問 公共施設の新築・改修におけるZ E B化の基本

的方針と、既存施設の調査実施や結果を踏まえた計画的な省エネ
性能向上について見解を問う。

答 次期「荒川区公共施設等総合管理計画」の中で方向性を示す
とともに、調査の有効性や対象施設の考え方などについて検討を
進めていく。

問 民間のZ E Bプランナーの活用意向と、国の補助金を計画的に
活用するための専門的知見を取り入れた体制整備等について、
見解を問う。

答 民間ノウハウの導入検討や専門職員の確保等による全庁横
断的なZ E B化等の検討を進めていく。

その他の質問項目

- 電子地域通貨活用の基盤整備によるデジタル化の推進について



公共施設の新築・改修とZ E B化の検討



特別支援学級の環境整備と支援が必要な子どもの放課後の過ごし方／補聴器購入助成について

北村 綾子
(共産党)



特別支援学級の環境整備と医療的ケア児を含む支援が必要な子ども達の放課後の過ごし方

問 防音性のある教室、専門スタッフの配置等、早急に特別支援学級の環境整備をすること。

答 現場からの要望を踏まえて環境改善に努め、人的体制についても適切、柔軟に対応している。

問 医療的ケア児等の学童クラブ受け入れに際しては、保護者の就労要件を緩和すること。

答 子どもとその保護者の状況を個別具体的に勘案し、保護者の意向に寄り添いながら対応している。

問 重症心身障害児等留守番看護師派遣事業の利用時間延長や自宅外利用等、支援を拡充すること。

答 利用時間等を拡充してきた一方、自宅以外への派遣を検討し、利用場所を拡充する予定である。

補聴器購入助成について

問 聴力障害の厳しすぎる手帳基準の見直しと高齢者補聴器購入の公費補助を国に求めること。

答 手帳の基準の見直しと、自治体の助成に対する公費補助に関して、必要に応じ国に要望していく。

問 区の高齢者補聴器購入助成の上限額を引き上げること。

答 令和6年度に助成額を約3倍に増額し、所得制限も撤廃するなど、適宜見直しを行っている。

問 補聴器購入者等が区内の身近な場所で気軽に相談・調整できるよう区として環境を整えること。

答 助成の際は医師が診察の上、専門店を紹介し、購入後も安心いただける環境を整えている。



▲高齢者の補聴器購入助成



システム標準化の進捗と今後のDX推進／あらかわ遊園の収益向上と分析方法について

大月 健弘
(ゆいの会(都民ファースト・国民民主・あたらしい党・無所属))



システム標準化の進捗と今後のDX推進について

問 令和8年1月に移行した標準化システムの今後の進捗及びノウハウの活用について、見解を問う。

答 一部システムの移行は完了した。今後も国等の動向も注意し、円滑に移行できるよう対策する。

問 今後、DX推進に関してどのような取り組みを予定しているのか、区の見解を問う。

答 書かない、来ない窓口を拡大しつつ、モバイルパソコンによる業務効率化を推進する。

問 全職員がDX化の推進に向けて意識を高めることが大事だと考えるが、区の見解を問う。

答 DXの推進に向けた意識の醸成と効果的に活用するための知識・リテラシーの向上に取り組む。

あらかわ遊園の収益向上に向けた、経営資源の選択と集中。この対応の精度を上げるための分析方法

問 あらかわ遊園の収益改善を図るには経営資源の選択と集中が必要であり、ターゲットを絞るためにはPDCAを回していくことが重要であると考えますが、区の見解を問う。

答 アンケート等により来園者の声を幅広く収集すること、潜在顧客の動向やニーズなどの調査等の客観的データを踏まえ経営資源の活用を総合的に検討し、よりよい経営判断に基づく運営に努める。

その他の質問項目

○荒川区で起業後の育成に関するイベント・相談会の定期的な開催等について



▲あらかわ遊園の収益向上策と分析方法について



地域のコミュニティを大事にしたまちづくり／学校建て替え計画 第三回中間報告に関わって

齊藤 邦子
(共産党)



地域のコミュニティを大事にしたまちづくり

問 公衆浴場空白地域に区の責任で新たな公衆浴場を誘致するための、浴場誘致計画を作ること。

答 設備改善費や燃料費等を支援しており、自家風呂の一般化を踏まえると、誘致の必要性は低い。

問 公衆浴場をこれ以上減らさないため、都の支援事業に区が上乘せして支援をすること。

答 都と役割分担をしながら、引き続き公衆浴場の活性化と経営基盤の強化に向けて支援していく。

問 若手起業家との連携や子ども食堂などの地域の福祉的居場所を区が積極的に誘致し、それを区の魅力の一つとして商店街の活性化を図ること。

答 既存の補助制度の周知を図るとともに、各商店街のニーズや課題を踏まえた効果的な支援に着実

に取り組み、商店街の維持・活性化に努めていく。

学校建て替え計画第三回中間報告に関わって

問 小中一貫校など初めての提起もある中、区の学校教育のあり方について教育専門家、PTA、教員等を加えた議論を省いているなど、多くの問題点が解決していないことへの、区の見解を問う。

答 これまで町会長、PTA会長、保護者など延べ800人に対して説明会を行ったように、引き続き丁寧に説明していく。建て替えの際は、状況に応じて専門家や教員の意見も伺いながら進めていく。

その他の質問項目

- 危機的状況の医療介護について
- 介護施設の食費自己負担について



▲公衆浴場に対する区の支援や誘致計画の策定を要望

ライブ配信もあります！

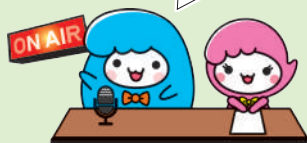
本会議及び委員会の音声をYouTubeでライブ配信しています。

視聴方法

- ・STEP 1 会議当日、荒川区議会YouTubeチャンネルにアクセスしてください。
- ・STEP 2 「ライブ」の表示が出ている動画を選択してください。
- ・STEP 3 会議の開始時刻から音声流れます。

※荒川区議会YouTubeチャンネルは、表紙の二次元コードからアクセス可能です。

※同YouTubeチャンネル及び荒川区議会ホームページでは、過去の会議の映像や音声も視聴することができます。



本会議の字幕配信も
区議会ホームページから
ご覧いただけます！



▲荒川区議会YouTubeチャンネル

委員会活動の報告

議会運営委員会

菅谷 元昭 委員長



1月26日

◆2月会議について

- ① 2月会議の開会日について
- ② 提出予定案件について
- ③ 2月会議の会議期間について
- ④ 一般質問等の締切日について
- ⑤ 提出議案説明のための委員会開会について
- ⑥ 2月会議の会議期間に係る日程について
- ⑦ 予算に関する特別委員会の設置について

2月16日

◆2月会議について

- ① 追加議案の提出について
- ② 陳情書の受理について
- ③ 2月会議の会議期間について
- ④ 議事日程について
- ⑤ 一般質問について
- ⑥ 2月16日の本会議の議事の取り扱い及び順序について
- ⑦ 2月17日の本会議の議事の取り扱い及び順序について

2月27日

◆2月会議について

- ① 議事日程について
- ② 2月27日の本会議の議事の取り扱い及び順序について

3月10日

◆2月会議について

- ① 追加議案の提出について
- ② 議事日程について
- ③ 3月10日の本会議の議事の取り扱い及び順序について

3月17日

◆2月会議の最終日について

- ① 意見書について
- ② 荒川区議会委員会条例の一部を改正する条例
- ③ 2月会議の終了について 等

◆今後の議会日程について

常任委員会

総務企画委員会

竹内 明浩 委員長



1月14日

◆所管事務事業説明

- ① 基本構想策定における区民参画の実施結果について(報告)
- ② 第50回荒川区政世論調査結果について
- ③ 私債権にかかる債権管理の取り組み状況について

2月3日

◆2月会議提出予定案件について

- ① 荒川区公契約条例の制定について
- ② 荒川区組織条例の一部を改正する条例について
- ③ 職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例について
- ④ 令和8年度荒川区一般会計予算
- ⑤ 令和7年度荒川区一般会計補正予算(第7回)

◆所管事務事業説明

- ① 荒川区人権推進指針(改定案)の策定について
- ② 荒川区男女共同参画社会推進計画(第6次)(案)の策定について
- ③ 都区財政調整協議結果について 等

2月19日

◆付託された議案について

- ① 議案第59号
荒川区組織条例の一部を改正する条例
- ② 議案第60号
職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例
- ③ 議案第73号
令和7年度荒川区一般会計補正予算(第7回)
- ④ 議案第57号
荒川区公契約条例

◆委員会付託事項

- ① 新たに付託された陳情について

※二次元コードから各委員会の録音中継が視聴できます（委員会資料は「荒川区議会会議録検索システム」よりご覧ください）

文教・子育て支援委員会
明戸 真弓美 委員長



1月15日

◆所管事務事業説明

- ①荒川区スポーツ推進プランの素案について
- ②令和7年度荒川区教育委員会主要施策に関する点検・評価の実施結果について

2月4日

◆2月会議提出予定案件について

- ①荒川区児童福祉施設の設備及び運営の基準に関する条例の一部を改正する条例について
- ②荒川区子ども・子育て会議条例の一部を改正する条例について
- ③荒川区特定乳児等通園支援事業の運営の基準に関する条例の制定について
- ④荒川区営運動場の設置、管理に関する条例の一部を改正する条例について
- ⑤幼稚園教育職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について
- ⑥令和8年度荒川区一般会計予算（文教・子育て支援委員会関係） 等

◆所管事務事業説明

- ①区民運動場の休場日及び使用時間の変更について
- ②学校施設建替え計画の検討状況（中間報告3回目）について

2月20日

◆付託された議案について

- ①議案第58号
荒川区特定乳児等通園支援事業の運営の基準に関する条例 等

◆所管事務事業説明

- ①荒川区スポーツ推進プラン(案)の策定について
- ②荒川区読書活動推進プラン(案)の策定について

◆委員会付託事項

- ①新たに付託された陳情について

福祉・区民生活委員会
増田 峰子 委員長



1月14日

◆所管事務事業説明

- ①（仮称）諏訪台ふれあい館の整備について
- ②東尾久地域包括支援センター移転について

2月3日

◆2月会議提出予定案件について

- ①荒川区手数料条例の一部を改正する条例について
- ②荒川区立心身障害者福祉センター条例の一部を改正する条例について
- ③荒川区立精神障害者地域生活支援センター条例の一部を改正する条例について
- ④荒川区立障害者福祉会館条例の一部を改正する条例について
- ⑤荒川区生活安全条例の一部改正について 等
- ⑥令和8年度荒川区一般会計予算（福祉・区民生活委員会関係）

◆所管事務事業説明

- ①荒川区生活安全条例の一部改正に関するパブリックコメントの実施結果について
- ②荒川区地域福祉計画（案）の策定について

2月19日

◆付託された議案について

- ①議案第68号
荒川区立心身障害者福祉センター条例の一部を改正する条例
- ②議案第71号
荒川区生活安全条例の一部を改正する条例 等

3月11日

◆付託された議案について

- ①議案第81号
荒川区国民健康保険条例の一部を改正する条例
- ②議案第82号
荒川区介護保険条例の一部を改正する条例

建設環境委員会

夏目 亜季 委員長



1月15日

◆所管事務事業説明

- ①「東京における都市計画道路の整備方針（第五次事業化計画）」（案）及び区内の都市計画道路事業の進捗状況について

2月4日

◆2月会議提出予定案件について

- ①荒川区手数料条例の一部を改正する条例について
- ②令和8年度荒川区一般会計予算（建設環境委員会関係）
- ③令和7年度荒川区一般会計補正予算(第7回)（建設環境委員会関係）

◆所管事務事業説明

- ①荒川区耐震改修促進計画の改定素案について

◆行政視察の集約について

2月20日

◆付託された議案について

- ①議案第72号
荒川区手数料条例の一部を改正する条例

◆所管事務事業説明

- ①西日暮里再開発の技術協力者選定及びスケジュール変更について



▲震災・災害対策調査特別委員会
行政視察（長野市）

特別委員会

震災・災害対策調査特別委員会

並木 一元 委員長



1月22日～23日

◆行政視察

- ①長野県長野市（22日）
 - ・防災備蓄倉庫の備蓄品の管理について
 - ・福祉避難所運営について
- ②石川県金沢市（23日）
令和6年能登半島地震について

財政援助団体調査特別委員会

茂木 弘 委員長



1月21日

◆行政視察の集約について

◆調査研究事項

- ①荒川区社会福祉協議会について

1月27日

◆区外視察

- ①葛飾区文化施設の取り組みについて

若者支援・健全育成調査特別委員会

保坂 正仁 委員長



1月22日

◆調査研究事項

- ①若者相談事業「わっか」の相談実績等について

◆行政視察の集約について

◆区内視察

- ①なにかし堂
- ②一般社団法人 子ども村ホッとステーション



▲財政援助団体調査特別委員会
区外視察（葛飾区）



▲若者支援・健全育成調査特別委員会
区内視察（なにかし堂）

予算に関する特別委員会で 令和8年度予算を可決

令和8年度一般会計予算ほか3特別会計予算は、全議員で構成される「予算に関する特別委員会」（委員長＝並木一元、副委員長＝宮本舜馬）を設置しました。2月25日から3月11日まで審査を行い、いずれも原案どおり可決されました。



◀予算に関する特別委員会の様子（左から議長・委員長・副委員長）

令和8年度 予算の概要

年度区分 会計区分		令和8年度 予算額	令和7年度 予算額	増減額	増減率
一般会計		1,367億2,000万円	1,319億3,000万円	47億9,000万円	3.6%
特別会計	国民健康保険事業	223億5,400万円	229億3,700万円	△5億8,300万円	△2.5%
	後期高齢者療養	61億7,900万円	57億2,700万円	4億5,200万円	7.9%
	介護保険事業	205億9,200万円	202億4,800万円	3億4,400万円	1.7%

令和8年 区長の施政方針説明

（一部抜粋・要旨）

滝口区長から、2月16日の本会議において、施政方針説明が行われました。

区長就任以来の1年間、私は、できる限り多くの現場や地域に足を運び、息遣いを感じるべく、その機会を積極的に作ってまいりました。この度、編成いたしました令和8年度予算案は「みんなの思いをつなぐ予算～いきいきと住み続けられる心豊かなまちを目指して～」と位置づけ、物価高騰等による影響が長く区民生活に影響している現状を踏まえ、喫緊の課題や将来に向けた取り組みに

ついて、持続的な区政運営のために必要な事項を予算化したものです。これまで以上に効率的・効果的な執行ができるよう大規模な組織の再編を行い、各部署が連携して事業を実施していく意識を高め、施策を推進していきたいと考えています。

現在、様々な方からご意見を頂戴しながら、区の将来像を定める基本構想の策定を進めています。荒川区に愛着と誇りを持ち、安心できる快適な地域づくりに向けて知恵を絞ってまいります。



◀区長の施政方針説明の様子

委員会での審査経過

2月25日

◆一般会計予算

○総括質疑(6会派)

※主な質問項目は下記参照

○歳出審査(議会費・総務費)

2月27日

○歳出審査(総務費)

3月3日

○歳出審査(総務費)

3月4日

○歳出審査(総務費・民生費)

3月5日

○歳出審査(民生費・衛生費・環境清掃費)

3月9日

○歳出審査(環境清掃費・産業経済費・土木費)

3月10日

○歳出審査(土木費・教育費)

3月11日

○歳出審査(教育費・公債費・諸支出金・予備費)

○歳入審査(一括審査)

○採決

・組み替え動議(共産党提出)

採決の結果…否決

・原案

採決の結果…可決

◆国民健康保険事業特別会計予算

◆後期高齢者医療特別会計予算

◆介護保険事業特別会計予算

○審査

○採決 採決の結果…可決

主な総括質疑

自民党
菅谷 元昭 委員



- 令和8年度予算について
- 新年度以降の荒川遊園の運営について
- 都市計画マスタープランについて
- 荒川区公共施設等総合管理計画について

ゆいの会 (都民ファースト・国民民主・あたらしい党・無所属)
大月 健弘 委員



- 現場での業務DX化について
- KPIに基づくPDCAを回すための調査手法について
- 起業後の成長に向けた支援について

公明党
増田 峰子 委員



- 産後ケアの拡充について
- 英語教育の充実について

共産党
相馬 ゆうこ 委員



- 住宅について
- 生活保護について

立憲民主党
久家 しげる 委員

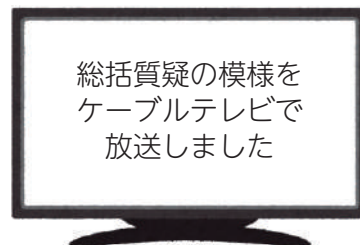


- 「地域経済活性化及び観光プロモーション推進協議会」での取り組み状況等について

維新・子育ての会
山田 晴美 委員



- 保育士への研修について



荒川区議会ホームページでも映像公開中!

※各二次元コードから視聴できます

令和 8 年度予算をこう評価する

3月17日の本会議において、令和8年度一般会計予算について各会派から討論が行われました。その要旨をお知らせします。

「いきいきと住み続けられる心豊かなまち」を目指して、より一層の努力を強く要望し、賛成
自 民 党



令和8年度予算は、滝口区長が区長就任後、予算編成に一から関わった予算であり、地域や現場に積極的に足を運び、区民の様々な声に耳を傾け、希望ある、明るい荒川区としていくための取り組みに対し、具体的に予算化を図ったものであると認識をしている。

自由民主党荒川区議会議員団は、本予算の編成にあたり、区民が幸せに、また、安心して生活を送るための取り組みや持続可能な社会の実現を目指すための取り組みなど、10の重点項目



▲防災対策の強化

目をはじめ、500を超える事項について積極的な推進を求め、区長に予算要望書を提出した。

予算案では、我が会派の要望も踏まえ、防災対策の強化、子育て家庭への支援や福祉の充実、地域活性化の取り組みなど、多岐にわたる項目が予算化され、その内容についても、区民一人ひとりの思いをできるだけ反映させようとしたものとなっており、予算編成にあたっての区長及び区当局の努力について評価する。区においては、我が会派からの意見や提案を受けとめ、区政に適切に反映するよう求め、2点申し上げる。

まず、財政面を含む区政運営全般に関わる問題として、小中学校や本庁舎の建て替えをはじめとする公共施設の老朽化への対応が控える中、区が基金の積み立てを財政調整基金から特定目的基金にシフトさせていることは、必要な取り

組みであると理解をしている。歳入全体に占める財政調整交付金の割合が高い現状や、今後、多額の財政需要が控えていることを踏まえると、現役世代と将来世代の負担のバランスをどう考えるかは非常に難しく、区の基本的な理念に関わる問題である。予算特別委員会の中では、将来世代に負担を引き継がないよう、所得制限の有無、事業のサンセット、組織や外郭団体の見直し、あらかわ遊園の収支改善などの行財政改革についても取り上げ、議論した。これらの課題については、これからも提言を続けていく。

2点目は、区政における二元代表制に関することである。今回の当初予算の採決にあたって、我が会派は賛成の立場ではあるが、政策、事業として正しいのかどうか、まだ判断がつけられないものも一定数ある。その部分については区としても、アンケート等を活用し、しっかりとした成果の報告をするものとして、判断保留の状態であり、パッケージとしての予算案に賛成としているところである。区が報告をできるようになった段階で、改めてフラットな立場で議論すること。今後も、この二元代表制の本質である穏やかな緊張関係を区と保ちつつ、区民の幸せという共通目標へ区と目線はしっかり合わせながら、区政の両輪の片側として、努力を続けていく。予算の執行にあたっては、「いきいきと住み続けられる心豊かなまち」を目指して、より一層の努力を強く要望し、賛成の討論とする。



▲区が発表した令和8年度予算案概要の資料

いきいきと住み続けられる荒川区のまちづくりに向け、より一層の努力を要望し、賛成

公明党



令和8年度予算案は、公明党荒川区議会議員団が強く求めてきた施策が随所に盛り込まれていると高く評価する。例として、産後事業の充実や子どもの遊び場の確保、5歳児健診の実施、学校施設の建て替えの推進、英語教育の充実、シルバーパス購入助成の継続実施、備蓄物資及び備蓄スペースの拡充、マンション防災対策の強化等が重点事業として取り入れられている。

また、予算に関する特別委員会においては、将来を見据えた財政運営、ランニングやウォーキング環境の整備と銭湯の活用、シティプロモーションの推進、スーパー堤防やテラスの整備、介護施設人材不足の施策として調理師の賃金の

引き上げ実施、出張型プレーパークの実施回数と場所の拡大、リサイクル事業の推進、歩道の植栽の整備、建て替え計画以外の学校の長寿命化やZEB化計画など、各分野で質疑・要望を行った。いずれも早急に検討すべき重要課題であり、今後の予算執行等に反映し、国や都の財源も最大限に活用することを求める。今後も、区民が大きな希望を持ち、みんなの思いをつなぐ予算として、いきいきと住み続けられる荒川区のまちづくりに向け、より一層の努力を重ねることを要望し、本予算案に賛成の討論とする。



◀ 英語教育の充実

最少の経費で最大の効果を得られるよう事業執行にあたることを求め、賛成

ゆいの会 (都民ファースト・国民民主・あたらしい党・無所属)



本予算案は、事業の必要性や効率の精査を行ったうえで、適正な事業が反映された内容であり、区長の区政運営への責任と「みんなの思いをつなぐ」という思いが込められた予算と受け止めている。

予算に関する特別委員会において、総括質疑では現場のDX化の進め方をはじめ、区施設の区民満足度向上に向けたデータ収集・分析、起業後の成長支援の仕組みづくりなどの質疑を行った。また、各分野のなかで、青切符開始に伴う自転車ルールさらなる周知、福祉分野における所得制限の課題、全保育園への看護師配置、家庭ごみ有料化へ対する慎重な検討、あらかわ

遊園の収支バランス改善、西日暮里駅前再開発に伴う高架歩道とJR・地下鉄との接続、荒川区ならではのまちづくり・シティプロモーション、AIを活用した学習、ネットリテラシーなどについて取り上げた。

今後も国際情勢の不安定化が懸念されるが、自然災害への事前対応や、学校及び区庁舎の建て替えといった課題に備えることは必至である。令和8年度も引き続き最少の経費で最大の効果を得られるよう事業執行にあたることを求め、賛成の討論とする。



◀ DXの推進とその進め方

物価高騰対策、住宅支援など暮らし応援が不十分、民営化路線見直しを求め、反対

共産党



予算案は、公契約条例制定などいくつかは評価に値するが、以下については不十分である。

第一に、物価高騰対策や暮らしと営業への支援策についてである。エアコン購入助成拡大、がん検診の無料継続、賃上げの直接支援、介護・福祉分野の事業継続などの支援が必要である。

第二に、まちづくりについてである。駅前再開発事業の増え続ける総事業費やマンション価格高騰などは問題で、家賃助成策が求められる。また、地域公共交通計画は、今から実態調査を行うべきである。

第三に、公共の再生である。直営学童クラブの廃止計画は中止し、学童保育全体の質の向上

を図るべきである。また、区が介護、福祉、保育の現場を持つことで、質を確保することも今後重要な課題となる。

最後に、区の財政運営についてである。区民の要求に応える財源はあると言える。本庁舎の建て替えの場合、起債の活用を検討すべきであり、住民福祉の増進を優先する行財政運営が必要である。

再開発問題や公共施設の更新などにあたっては、小中学校の建て替えを最優先する方向性を明確にすることを求め、反対の討論とする。



学童保育全体の質の向上



区議会からの意見書の提出

区民の暮らしに関することで、それが国や都の仕事であったり、民間企業の仕事であったりする場合、区だけでは解決できないことがあります。このような場合において区は、関係機関等に対して「意見書」や「要望書」を提出して問題の解決を求めています。

意見書提出

2月会議では1件の意見書を提出しました。

自賠償保険の賦課金上乘せ制度を廃止することを求める意見書



意見書の本文はこちらから

(衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、財務大臣・内閣府特命担当大臣（金融）、国土交通大臣、内閣官房長官あて)

議案の審議結果



各議案の概要はこちらから
(区議会HP)

令和7年度定例会・2月会議

○賛成 ×反対 太字は討論のあったことを示す

議案名	説明	結果						結果
		自	公	ゆ	共	立	維	
議員提出議案(2件)								
自賠責保険の賦課金上乘せ制度を廃止することを求める意見書提出について	地方自治法第99条の規定により提出	○	○	○	○	○	○	可決
荒川区議会委員会条例の一部を改正する条例	荒川区組織条例の改正に伴う、常任委員会の所管の改正	○	○	○	○	○	○	可決
区長提出議案(27件)								
荒川区公契約条例	公契約に関し、基本方針及び締結に必要な事項を定め、区及び受注者の責務を明らかにするもの	○	○	○	○	○	○	可決
荒川区特定乳児等通園支援事業の運営の基準に関する条例	特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定めるもの	○	○	○	×	○	○	可決
荒川区組織条例の一部を改正する条例	区民サービスの一層の向上と、より効果的な執行体制の整備を図るための改正	○	○	○	○	○	○	可決
職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例	職員の給料表の改定等	○	○	○	○	○	○	可決
荒川区子ども・子育て会議条例の一部を改正する条例	所掌事務に特定乳児等通園支援の利用定員の設定を追加	○	○	○	○	○	○	可決
荒川区児童福祉施設の設備及び運営の基準に関する条例の一部を改正する条例	乳児院の長等の資格の基準を改める等の規定整備	○	○	○	○	○	○	可決
荒川区乳児等通園支援事業の設備及び運営の基準に関する条例の一部を改正する条例	基準の改正等に伴う規定整備	○	○	○	○	○	○	可決
荒川区幼保連携型認定こども園の学級の編制、職員、設備及び運営の基準に関する条例の一部を改正する条例	法改正に伴う規定整備(条項ずれ)	○	○	○	×	○	○	可決
荒川区営運動場の設置、管理に関する条例の一部を改正する条例	区民運動場の多目的グラウンドに設置する照明設備に係る使用料の(1回1時間3100円)を設定	○	○	○	○	○	○	可決
幼稚園教育職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	幼稚園教育職員の給与に関する規定を整備	○	○	○	○	○	○	可決
荒川区手数料条例の一部を改正する条例(保健衛生関係手数料に係るもの)	法改正等に伴う規定の整備(条項ずれ等)	○	○	○	○	○	○	可決
荒川区立心身障害者福祉センター条例の一部を改正する条例	法改正に伴う規定の整備(条項ずれ)	○	○	○	○	○	○	可決
荒川区立障害者福祉会館条例の一部を改正する条例		○	○	○	○	○	○	可決
荒川区立精神障害者地域生活支援センター条例の一部を改正する条例	法に基づき、地域相談支援事業を実施するほか、規定を整備	○	○	○	○	○	○	可決
荒川区生活安全条例の一部を改正する条例	禁止行為に客引き行為等を加えること、禁止行為に対し罰則規定を整備	○	○	○	○	○	○	可決
荒川区手数料条例の一部を改正する条例(建設関係手数料に係るもの)	法律改正に伴い、手数料を徴収する事務等を改める	○	○	○	○	○	○	可決
令和7年度荒川区一般会計補正予算(第7回)	都市計画道路等の用地取得 外5件	○	○	○	○	○	○	可決
令和8年度荒川区一般会計予算	歳入歳出予算額 1,367億2,000万円	○	○	○	×	○	○	可決
令和8年度荒川区国民健康保険事業特別会計予算	歳入歳出予算額 223億5,400万円	○	○	○	×	○	○	可決
令和8年度荒川区後期高齢者医療特別会計予算	歳入歳出予算額 61億7,900万円	○	○	○	×	○	○	可決
令和8年度荒川区介護保険事業特別会計予算	歳入歳出予算額 205億9,200万円	○	○	○	×	○	○	可決
人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて	砂田厚美 氏	○	○	○	○	○	○	適当との意見
人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて	關口泰正 氏	○	○	○	○	○	○	適当との意見
東京都後期高齢者医療広域連合規約の一部を変更する規約	後期高齢者医療の保険料軽減にあたる規約の改正	○	○	○	○	○	○	可決
荒川区国民健康保険条例の一部を改正する条例	法改正に伴う子ども・子育て支援給付金の規定及び保険料率の改定等	○	※1	○	×	○	○	可決
荒川区介護保険条例の一部を改正する条例	法施行令の改正等に伴う規定の整備	○	○	○	×	○	○	可決
荒川区教育委員会教育長の任命同意について	阿部忠資 氏	○	○	○	○	○	○	同意

【会派名・所属人数】自…自由民主党荒川区議会議員団(11) 公…公明党荒川区議会議員団(6) ゆ…ゆいの会(都民ファースト・国民民主・あたらしい党・無所属)(6) 共…日本共産党荒川区議会議員団(5) 立…立憲民主党荒川区議団(2) 維…維新・子育ての会(1)

※1 会派内で意見が分かれました。

全国の議会が視察に訪れています



12月26日～3月17日の間、3団体が行政視察で来訪されました。
ありがとうございました。

日程	視察受入議会名	主な視察項目
1月16日	 宮城県仙台市議会	浸水想定区域における備蓄倉庫について
1月29日	 大阪府門真市議会	読書を愛するまち・あらかわについて
2月4日	 長野県長野市議会	親なき後支援事業について

令和7年度受け入れ数 累計33団体



◀仙台市議会様



◀門真市議会様



◀長野市議会様



荒川区議会も鈴木誠也選手を応援しています！

荒川区は、「2026 ワールドベースボールクラシック」の開催に先立ち、野球日本代表として出場する、荒川区出身の鈴木誠也選手の応援メッセージ動画を制作し、荒川区議会も議員一同から応援メッセージを送りました。

荒川区議会は、これからも当区とゆかりのある鈴木誠也選手のご活躍を応援しています！



荒川区から世界へ！鈴木誠也選手を応援しています！



応援動画は上記の
二次元コードから
ご覧いただけます。

*閉会会議は、4月30日(木)の開会を予定しています。